



花木 里菜

●シーン設定

船旅をするときに着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

服全体を地層のような模様にデザインし、大地を表現。

「どのように」

麻を使い土に返せる素材にすることでサスティナブルを表現した。

●素材

麻 100%

●アピールポイント

自然に溶け込めるような落ち着いた色合いの「茶色」を基調色とするとともに、シルエットをタイトにすることで気品をもたせているのが特徴。



齋藤 楓

●シーン設定

どんな天気でもワイワイした気分で着れる服。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が

表現されているか

「どこに」

明るい配色のデザインを用いることでサスティナブルを表現。

「どのように」

毎日 Positive thinking で明るい気分になれるデザインに仕上げている。

●素材

コットン、ポリウレタン

●アピールポイント

気分が明るくなるような色で統一感をだし、未来を明るく照らすパワフルなデザインが特徴。

CLOUD

売れ残りやサンプルなどの使われなくなった生地を集め、新たな価値をつける。

様々な素材をまるで雲のように何重にも重ねボリュームをだす。



青木 綾音

●シーン設定

カジュアルなパーティに行く時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が

表現されているか

「どこに」

スカート部分の雲のようなデザインにサスティナブルを表現。

「どのように」

売れ残りやサンプル等の生地を集め、何重にも重ね合わせているため、生地ロスが少ない。

●素材

綿、ポリエステル等

●アピールポイント

様々な素材を使用するからこそそのボリューム感に注目。

OOZE

滲み出る

THEME

“何歳になってもその時だけの魅力がある”
歳をとるごとに増していく魅力を、
きれいに広がっていく滲み絵から
インスピレーションを得たデザインで表現。
長く愛される流行にとらわれないデザイン。

BS



梶本 実玖

●シーン設定

“何歳になってもその時だけの魅力がある”といテーマのもと、特別な時に着てもらい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

全身にサスティナブルを表現。

「どのように」

全身再生セルロース繊維を使用し、小さいパーツをしきつめることで柄に見せる。

●素材

再生セルロース繊維（レーヨン、テンセル、キュプラ）

●アピールポイント

年代に関係なく着用できるサスティナブルファッション。
上品なデザインで女性の美しさを引き出しているのが特徴。



no12
大量生産・大量消費の暮らしが
地球に大きな負担を掛けていることがあり、
日本は今、モノを消費するために2.9個分の地球を必要としている。
私達は、つくる責任とつかう責任両方を考えなければならず、
新しいモノから作るのではなく、あるものから
新しいモノをうみだすことが必要だ。



相良 唯衣

●シーン設定

環境に関するイベントに行く際に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」

衣装のフォルムにサステイナブルを表現。

「どのように」

ペットボトルをイメージしたデザイン。

●素材

エコペット

●アピールポイント

デザインだけでなく、生地にもエコペットを用いたこだわりの作品。

Antelope Canyon

“地球を縫う”をテーマに、植物由来の染料を用いてアンテロープ
キャニオンの柄を表現、それをスキャンしたものをデジタルプリントで
プリントしたワンピースをデザイン。また、直線的なパターンにより
生地のを抑え、体型の変化にも対応出来るゆとりを持たせた。
付属のニットボレロやニットワンピースを組み合わせることで、
シーズンレスに活用出来る。



BS



中津 亜佳音

●シーン設定

普段着として着用できるワンマイルウェア。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

素材、染め方、プリント、衣装のパターン。

「どのように」

天然素材やリサイクル素材を用い、植物由来の技法によって染める。プリントは水量削減のためにデジタルプリントを、直線的でゆとりのあるパターンのデザインに仕上げることで長く着用できる。

●素材

テンセル TM モダール、エコペットのニット素材

●アピールポイント

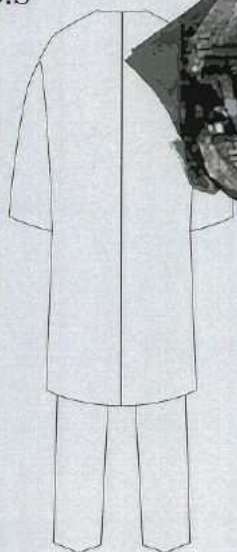
素材だけでなく、あらゆる視点からサスティナブルについて考え、守りたい地球の大自然を衣装に落とし込んだ。

温故知新



襦袢から着想を得てデザインを考えた。
日本の生活の知恵としてサステイナブルな
ファッションは江戸時代より前に存在して
いたが、現代では大量生産・大量消費がも
てはやされている。
裂き織り、襦袢という日本の昔の文化を作
品に活かし、サステイナブルにアプローチ
する。

B.S



中西 理貴

●シーン設定

普段のおしゃれ着として着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」

生地にはサステイナブルを表現。

「どのように」

捨てられるトワルや裁断後の余った生地など不要な生地を、裂き織りで生地として使用し、パッチワークで作品を仕上げた。

●素材

シーチングなど様々な残布の裂き織り。

●アピールポイント

東北地方で生活の知恵として生まれた裂き織りを使用した日本らしいシルエットの作品。

Aboriginal art



アボリジナルアートの
生きることに向きで
力強いイメージをデザ
インした。様々な厚さ
や種類のニット編み表
現する。

Material

- ・ Wool
- ・ Cotton



東谷 百花

●シーン設定

特別な日のドレスとして楽しんで着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」

デザインにアボリジナルアートを表現したスタイル。

「どのように」

アボリジナルアートのデザインを用いることで大自然への崇拝を表現。

●素材

ウール、コットン

●アピールポイント

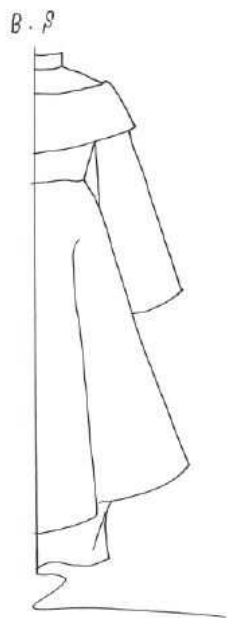
アボリジナルアートの生きることに向きで力強いイメージをデザインに落とし込んだ作品。

OSHIBANA

「思い出の花を美しいまま残したい」
そんな人々の想いが詰まった
“押し花”
これからの未来の自然環境も
美しい花や草木があり続けますように。
自然の染色を施した
ファッションを提案。

押し花染め
＋
草木染め

押し花染め=花や草木の形が残る。自然のプリント柄。
草木染め=植物や食材で、染色する



山口 千彩希

●シーン設定

カフェや散歩に行く時等、リラックスしたいときに着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

自然由来の原料で生地を染めることで全体にサスティナブルを表現。

「どのように」

押し花染めで植物のプリントを、草木染めで生地全体を優しいカラーに染める。

●素材

綿

●アピールポイント

押し花のような天然プリントに着目。花を一つ一つ生地に写して制作している。



山田 花鈴

●シーン設定

友人と出かける時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

シャツの生地とデザインにサスティナブルを表現。

「どのように」

生地に綿を100%用いており、シャツのサイズをフリー、デザインのパターンをシンプルにすることで長く着用できる。

●素材

綿100%

●アピールポイント

「1枚で着用できる、楽におしゃれがしたい」をコンセプトにしたシャツポンチョ。

テーマ

廃棄の服を助けたい「隊」

コンセプト



服は年間15億着の廃棄があります。
この服はうれのこのの服なので
新品です。
ですがこれらの服はほとんどが燃やされ
なくなります。
もちろん燃やす事で地球に害をおよぼします。
そこで私は売れ残りの服を使って
デザインし少しでも廃棄を減らしたいとおもいました。

デザインポイント

ワンピースは、廃棄の服を
フリルにし直し。
破棄の服のカラーを用います。

Bos



廃棄された服のブラウスを
すべてフリルにする。



山田 悠花

●シーン設定

友人の誕生会など賑やかなパーティに着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

破棄された衣服を、ワンピースの袖やスカート部分等の衣装全体に用いている点。

「どのように」

破棄された衣服をフリルにすることで再利用している。

●素材

多種多様な破棄された素材

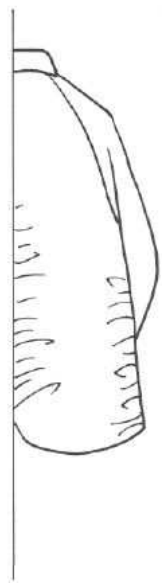
●アピールポイント

破棄された衣服をフリルにすることで、古着を用いたとは思えないでデザインに。また、カラーにはSDGsを表現したカラフルな色合いを用いている。



silent screams

年々問題視されているアフリカ象の象牙密猟に視点を向けた。動物たちから痛み、苦しさの感情は汲み取り辛く、いまの私たちはどうすることもできないけれど、考えや価値観を変えるきっかけをつくりたいと思い、このデザインに至った。トモ時に目撃者のワクワクするような街並みと雰囲気を含むような素材感とシルエットにこだわった、表現的なアルクローズを提案。



吉田 圭祐

●シーン設定

オールシーズン使える生地を用いたいつでも着用できるスタイル。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」
コートの刺繍

「どのように」

コートに大胆な刺繍を施し、動物たちの届かぬ気持ちを表現。

●素材

ポリエステル、ウール

●アピールポイント

柄は大胆だが、普段着としても着用できるシルエットのバランスのとれたデザイン。

あの頃を思い出す、懐かしいと思わせてくれる生地たちを捨てるのではなく、はぎ合わせて1着の服にする事で、思い出を形に出来たらいいなと思ってデザインしました。

shape of memories



大川 莉沙

●シーン設定

昔を思い出したい時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

衣装全体にサスティナブルを表現。

「どのように」

今まで使用してきたものの生地や、小さい頃のお気に入りの生地をパッチワークのようにはぎ合わせて使い、一着の服にする。

●素材

キルティング、プリント生地

●アピールポイント

母の手作りのランチョンマットや上履き袋、防災頭巾のカバー等に使われていた生地を用いた、懐かしい気持ちにさせてくれるデザイン。



林 華穂

●シーン設定

日暮里でお買い物をする時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

衣装の構造とデザインにサスティナブルを表現。

「どのように」

アイテムのうち汚れやすい部分は取り外し可能となっており、自身で手洗いをするができる。服のデザインには「異常気象、土砂崩れ、海の汚れ」を表し、環境問題に対する人々への啓発の意味を込めている。

●素材

コットン、ポリエステル、チュール

●アピールポイント

汚れやすい部分だけ取り外しができ、簡単に洗える環境に配慮したデザイン。



末継 旺慈

●シーン設定

楽しい気分で行きたい時、好きなものを買いにショッピングに行く時等に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ワンピース、袖、シューズにあるポケットとフリルに、ペットボトルを再利用した素材を使用。

「どのように」

生地全体にペットボトル再利用した「再生繊維」を用いており、サスティナブルを表現。

●素材

キュプラ、ペットボトル

●アピールポイント

ワンピース全体にペットボトルを再利用したポケットやフリルをつけており、環境に配慮した女性らしいロマンティックなワンピース。



副島 菜々子

●シーン設定

森のギャラリーや食事会をはじめ、着用したいと思ったときにいつでも着てほしい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

パンツのパッチワーク部分やトップスを、藍や矢車附子等の天然素材で染めることにより、深みのある色を表現。

「どのように」

トップスの余り生地を使い、パッチワークでパンツを制作するため、生地を無駄なく使用し廃棄率を低く抑える。

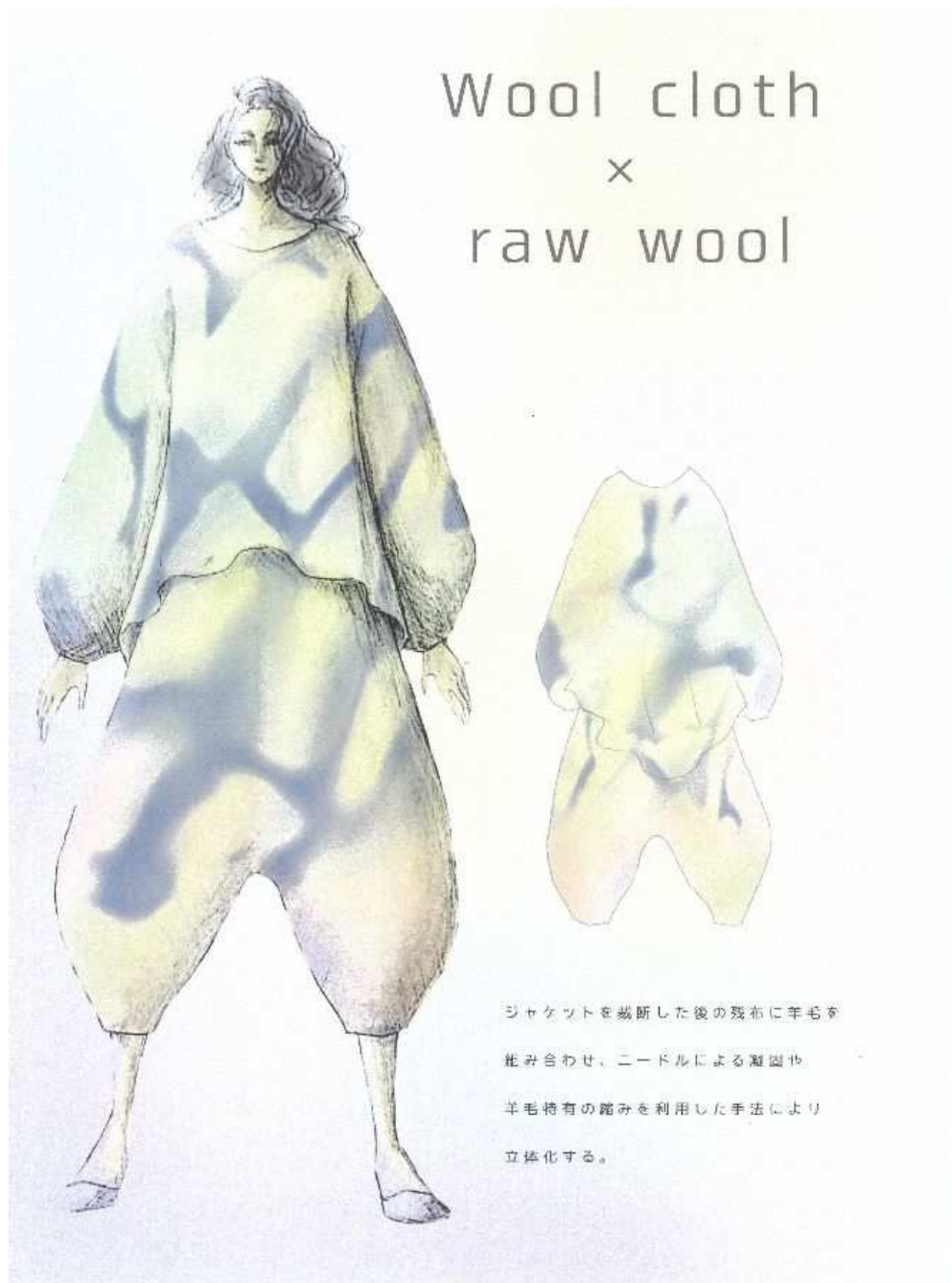
●素材

デニム（綿 50%、麻 50%）

畳のへり（ポリエチレン約 98%、ポリエステル約 2%）

●アピールポイント

自然が長い年月で作り上げる美しい姿を、使えば使うほど味が出るデニムで表現し、何年経っても美しさが色あせない服。



原 亜友紗

●シーン設定

冬のルームウェアとして、リラックスしたい時に着て欲しい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

トップスとボトムスにサスティナブルを表現。

「どのように」

ジャケットを裁断した後のウール生地を、羊毛を使って服にすることで資源を無駄なく利用。

●素材

ウール、羊毛

●アピールポイント

ただ羊毛で穴を埋めるだけでなく、羊毛の伸縮性を活かし、糸を使わず立体にすることで布や糸の無駄をなくしている。



松本 涼

●シーン設定

何かにチャレンジする時や新しさを求めている時に着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

服全体に使用されなくなったデニムを細く裁断し、編み込んでいる点にサスティナブルを表現。

「どのように」

雨具として使用されていた蓑からインスピレーションを受け、現代の使用されなくなったデニムを利用し、新しいデザインでもう一度着用できるようにした。

●素材

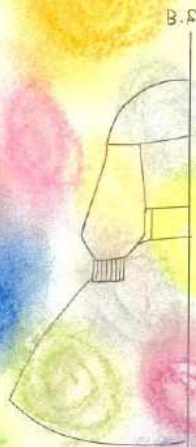
使用されなくなったデニム

●アピールポイント

新しいデニムによるデザインを提案。

HAPIFUL

いんぐわいぐれを100%
糸編みいんぐわいぐれに
つなぐ糸を表現し、
いんぐわいぐれを使用し
SDGsに
取り組
ました。



中俣 花菜

●シーン設定

イベント等で各所を周る際にサスティナブルを広めながら着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか 「どこに」

服のウール生地にサスティナブルを表現。

「どのように」

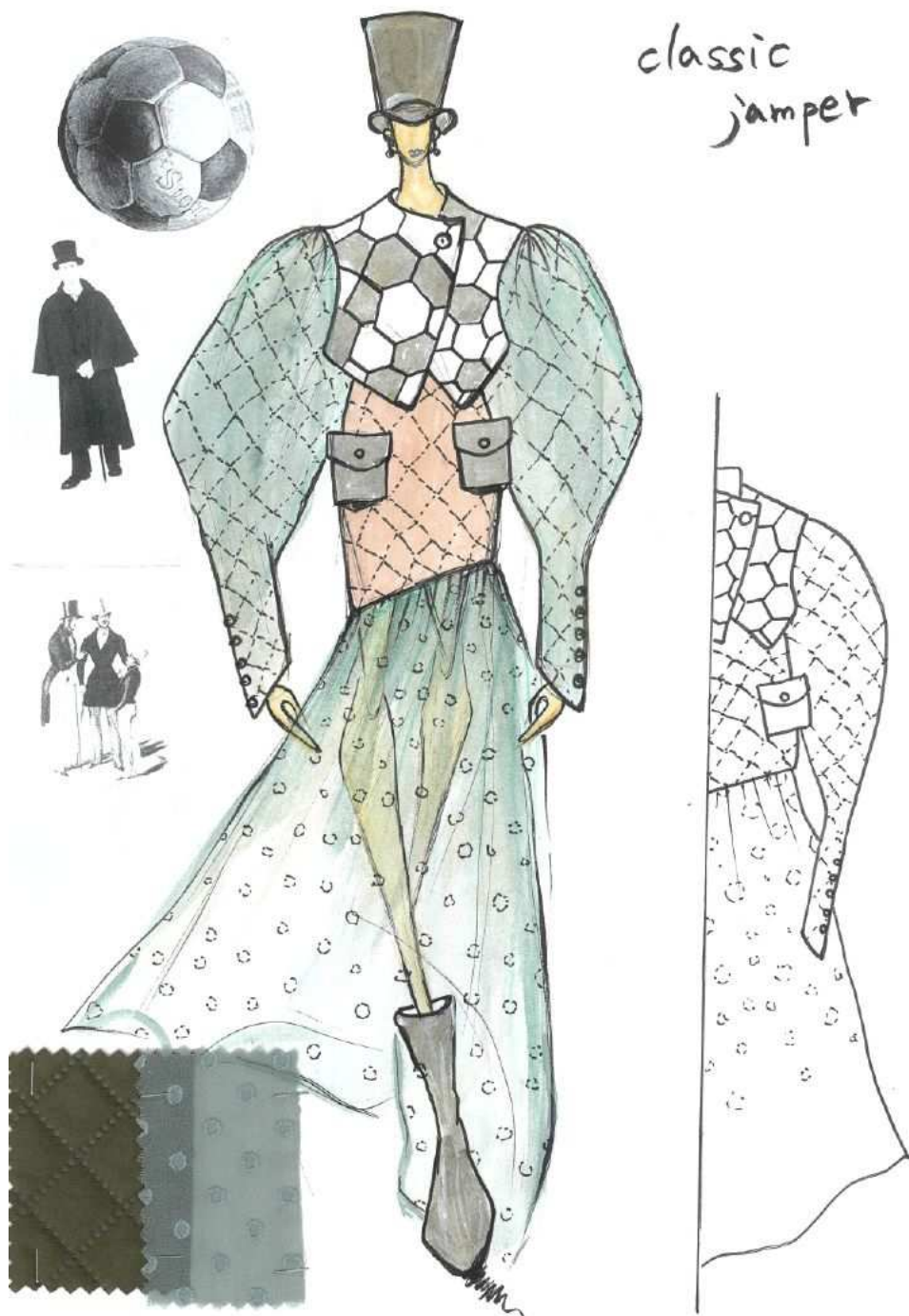
古着のウール生地を色別にした上で裁断し、ほぐして綿状に。そこに化学繊維を少し混ぜ、糸を紡いで新しいウール生地に仕上げる。色ごとにリサイクルするため染め直す必要がなく、水質汚染を防ぐことができる。

●素材

ウール、コットン等

●アピールポイント

ただのニットではなく、様々なはぎれで編んだニットを使い、日暮里繊維街の華やかな街並みやあたたかい人たちを服全体で表現。



辺 善周

●シーン設定

自分らしさを表現したい時に着用してほしい秋冬のアウトルックスタイル。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ジャンパーやラペル等の部分に動きやすさを反映したビジネススタイル。

「どのように」

ジャンパーとラペルを掛け合わせたデザインにすることで、普段着だけでなくフォーマルな場面でも着用できる点。

●素材

コットン、ポリエステル、ナイロン

●アピールポイント

19世紀のメンズジャケットからインスピレーションを受けつつも、現代のストリートファッションな面も掛け合わせ、いつまでも長く着用できるデザイン。

酒井 智美

●シーン設定

おしゃれをして外出する時

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」

ストール、装飾

「どのように」

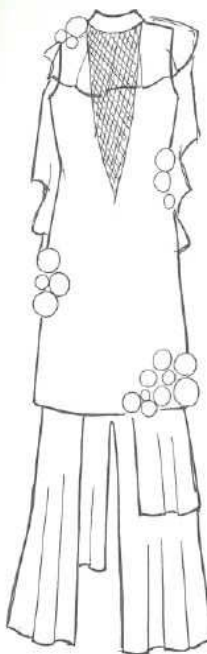
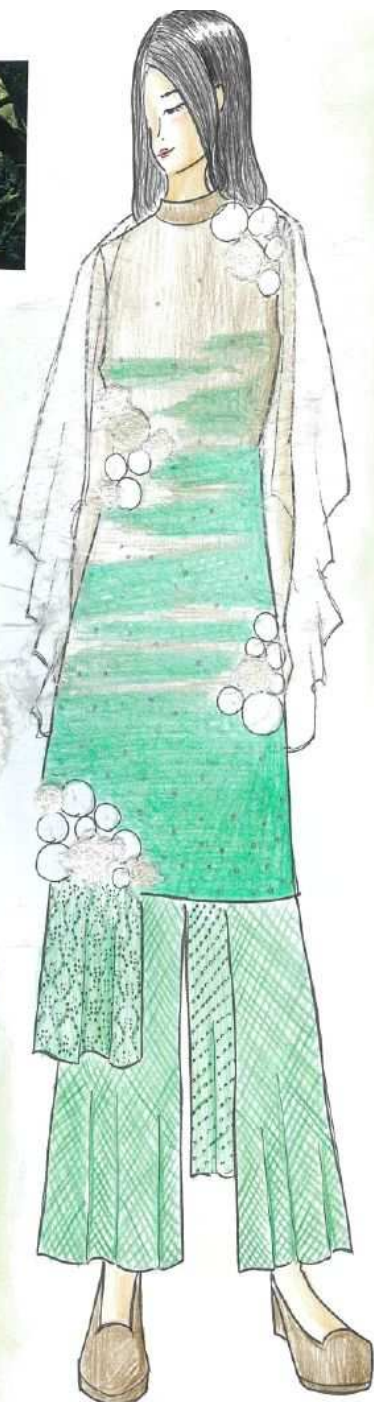
ストールと装飾にはニット特有の引き返し編みを用いることで、カットすることなく円形のパターンをつくり、廃棄する部分を減らすことができる。また、デザイン全体を豊かな緑のある屋久島をテーマとしている。

●素材

ウール

●アピールポイント

ニットならではの意匠系のおもしろさや技法を用い、自然を表現している。



大信 舞衣

●シーン設定

特別な日に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

アウター、パンツ等。

「どのように」

生地を挟み込んだり上からたたいたりすることで、キルティング加工を施す、新しいテキスタイルな洋服へ生まれ変わらせている点。

●素材

コットン、オーガンジー

●アピールポイント

切れ端や余り生地を挟み込み、キルティング加工をし、新しいデザインへと生まれ変わらせたサスティナブルなデザインの洋服。



サスティナブルとして、余った生地や廃断した時に出る切れ端などを、オーガンジーで挟み込み、キルティング加工を施す。余った生地を新しい生地、新しい服へ生まれ変わらせる。

back style



川本 淳

●シーン設定

ミリタリーな雰囲気コーディネートを組みたい時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ジャケットの表と裏地

「どのように」

中綿にはぎれを利用して綿状にしたものを使用。

●素材

ジャケットには毛と裏地レーヨン、ワンピースにはリヨセル混合の生地。

●アピールポイント

オーガニックコットンのような、少しくすんだ色のミリタリージャケットでサスティナブルを表現。また、デザインだけでなく、衣装の生地によくのはぎれを用いているのが特徴。

Re Rain coat

B.S



酒井 亜裕

●シーン設定

雨の日でも気分が上がるファッション

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

レインコートに破棄されるビニール傘を用い、リメイクしている点。

「どのように」

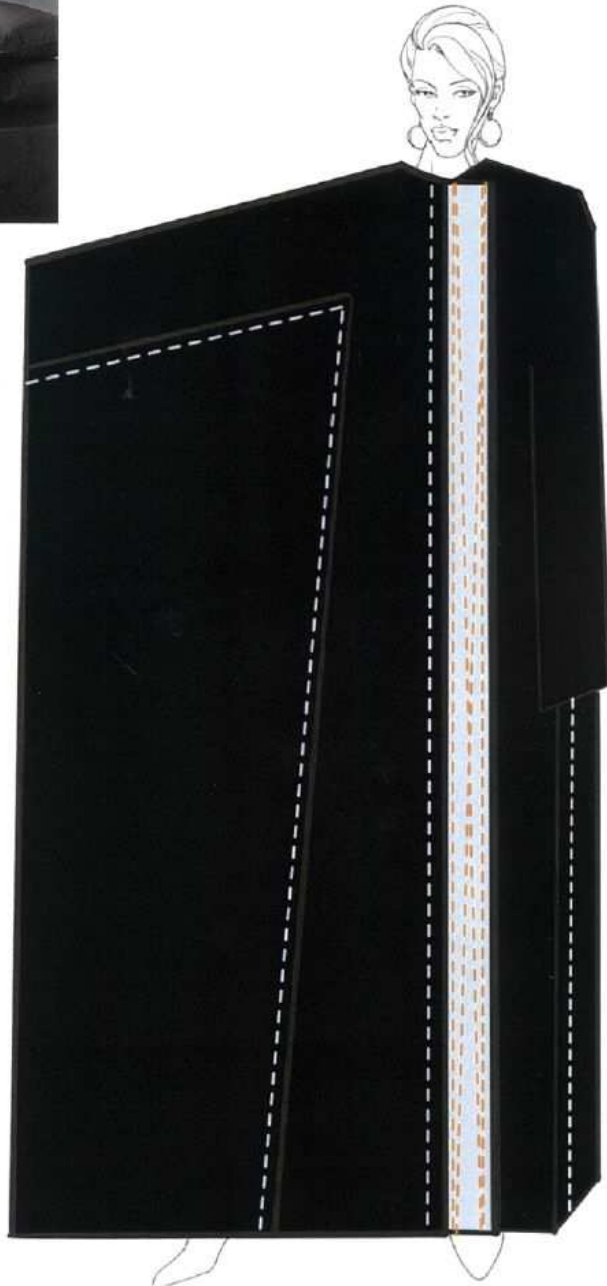
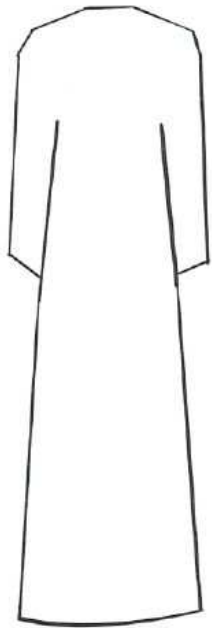
多くのビニール傘がこれ以上破棄されないよう、レインコートにリメイク。

●素材

ポリ塩化ビニール、EVA

●アピールポイント

街にたくさん捨てられてしまっているビニール傘がこれ以上増えないよう想いを込めたデザイン。



謝 元浩

●シーン設定

自宅で仕事をする時

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

敷布をリメイクして衣装を作成している点にサスティナブルを表現。

「どのように」

敷布から簡単に袖を作り、ステッチを加える。

●素材

古いシーツ

●アピールポイント

部屋の心地よさを着用できる、大きめのシルエットのデザインが特徴。



B・S



保科 貫太

●シーン設定

特別な日に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

服全体にサスティナブルを表現。

「どのように」

デニムのドッキング、つぎはぎで制作する。

●素材

デニム

●アピールポイント

破棄されているデニムを用いて作成するだけでなく、生地
のちょっとした表情の違いを組み合わせているのも特徴。



ミャ ムーン エィン

●シーン設定

パーティに行く時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

服全体にサスティナブルを表現。

「どのように」

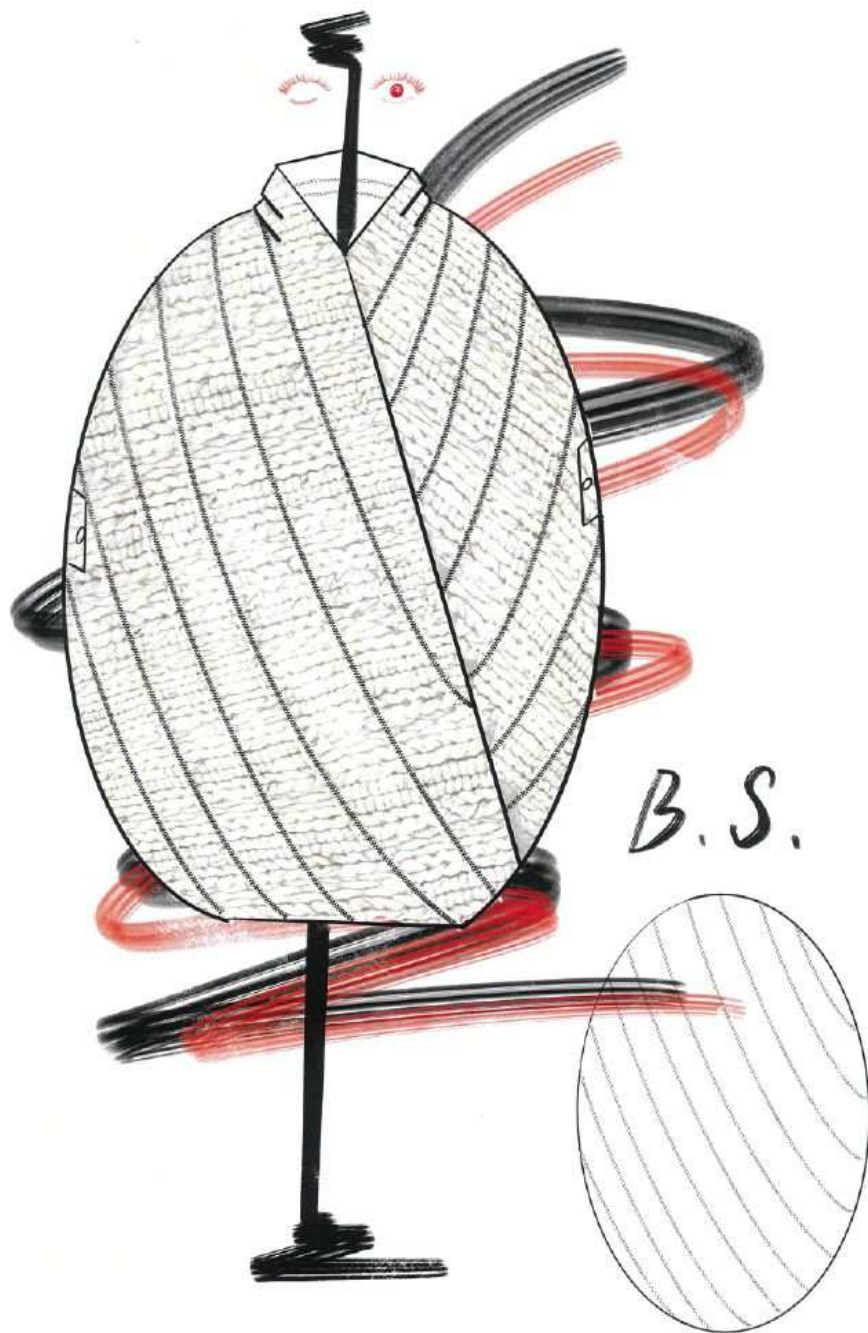
生地にはリサイクルポリエステルを用いており、環境への負担を軽減したサスティナブルスタイル。

●素材

リサイクルポリエステル

●アピールポイント

リサイクルポリエステルを用いているため環境に配慮したデザインであるのが特徴。また、日暮里繊維街の店舗にある生地をイメージし、カラフルなスタイルに仕上げている。



劉 葛菁

●シーン設定

普段着として気軽に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ワンピース全体の作りにサスティナブルを表現。

「どのように」

ワンピースを、不要のセーターとファスナーで作成。

●素材

不要になったセーター（毛糸）、ファスナー

●アピールポイント

不要になったセーターをすぐに破棄せずリメイクし、もう一度愛用物として蘇生。



リンネ ソー

●シーン設定

いつでも着用できる変化自在なスタイル。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ポケットとトップスのデニム箇所のボタンに、不要となったものを再利用。

「どのように」

ポケットの部分には不要の服を、トップスのデニム箇所には不要となったボタンを用いている。

●素材

デニム、サテン、ニット

●アピールポイント

衣装の前後には不要となったボタンを、トップスのデニム箇所には再利用したデニムとそのポケットを取り付けているのが特徴。



菅谷 俊太

●シーン設定

街着としてスタイリッシュに着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

半纏やサルエルパンツで直線的なカットラインに仕上げ、長期的に着用できるデザインにサスティナブルを表現。

「どのように」

直線的なカットのデザインにより、生地が無駄を減らして廃棄量の削減に配慮。また、上下の生地に再生繊維を使うことで新たな糸を使わず衣服を作成。

●素材

ECONYL®（エコニール）という再生ナイロン、又は長い間着用できるデニム生地を使用。

●アピールポイント

和と近代の融合をテーマにしたサスティナブルスタイル。

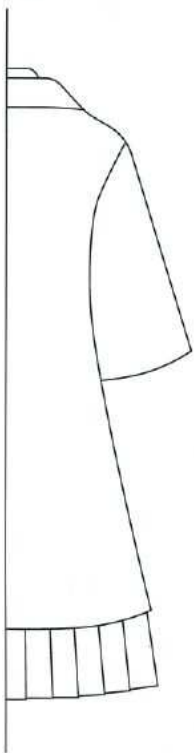
昔からの刺し子やダーニング、パッチワークなどの技術で
布を無駄にせず大切に使う。

おばあちゃんが布を大切に縫い合わせた手芸作品のような
温かみをストリートスタイルに落とし込みました。

これまでの製作で出た残布や切れ端を使い布を大切にして製作します。



B.S



大島 詩穂

●シーン設定

祖父母に会いに行く時に着ていきたいデザイン。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ガウン全体の素材にサスティナブルを表現。

「どのように」

昔からある刺し子やダーニング、パッチワークの布を大切に
するような技術を用いて作成するサスティナブルスタイル。

●素材

様々な残布やはぎれ

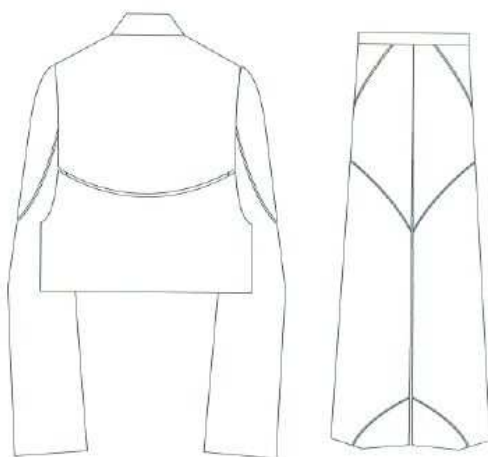
●アピールポイント

布を大切に使う祖母の意思を受け継ぎ制作することで、サ
スティナブルな未来に繋げる。

SHECT



Back Style



梅原 匠

●シーン設定

毎日の服装に少し変化を加えたい時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

衣装の素材。

「どのように」

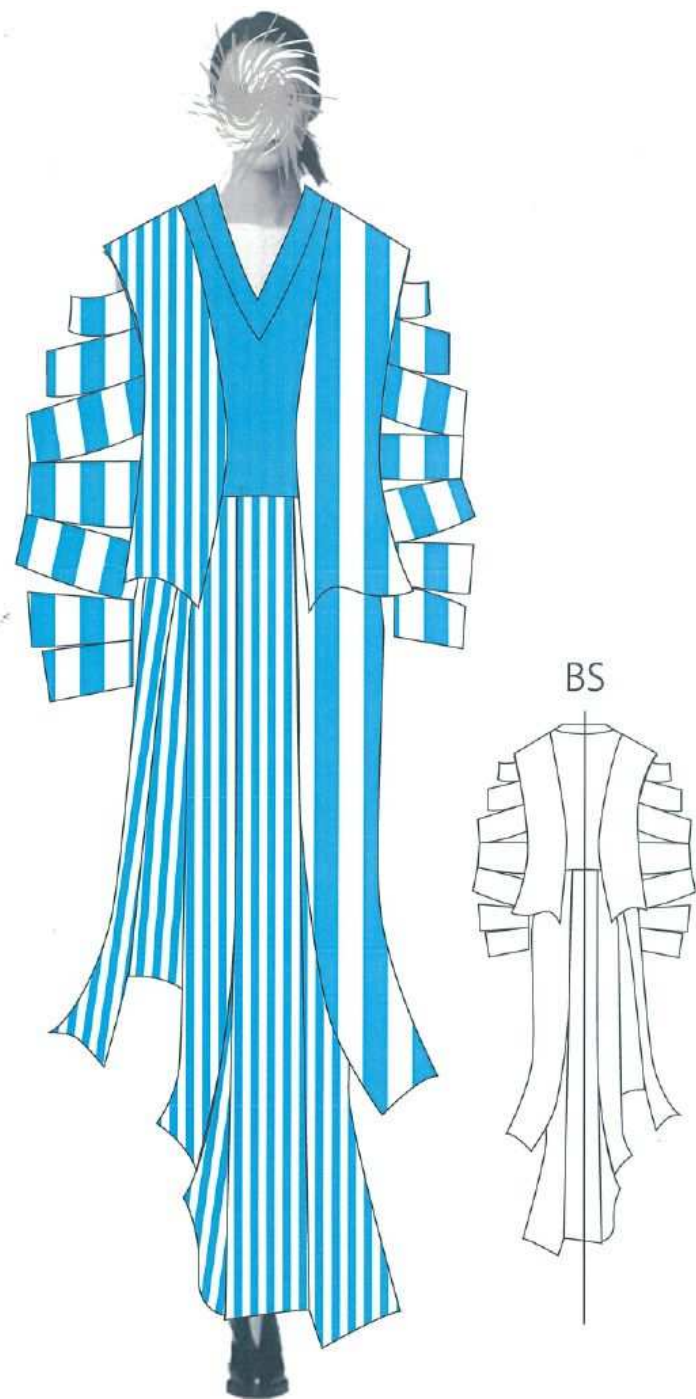
素材に再生繊維を用いることでサスティナブルを表現。

●素材

ポリノジック

●アピールポイント

生地にはポリノジックを用いるとともに、縫い方に工夫を凝らした上品なデザインが特徴。



大島 南十星

●シーン設定

気軽に外出するときに着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステイナブル”が表現されているか

「どこに」

直線的な形状

「どのように」

直線的なカットで生地ロスを削減

●素材

綿

●アピールポイント

生地を直線的にカットをして作成することで生地ロスを配慮したサステイナブルスタイル。

小幡 結依

●シーン設定

街へ出かける時、おしゃれをしたい時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

服全体のテキスタイル

「どのように」

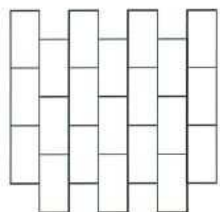
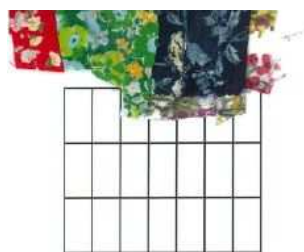
生地を小さいパーツに切り分け、縫い合わせることで生地ロスが少ないサスティナブルな服を表現。

●素材

綿プリント

●アピールポイント

天然由来の素材を使い、小さなパーツを縫い合わせて柄やシルエットを作り上げる、素材使用に無駄がない、人の手を使って作る社会に優しいクラフト。



布を細かいパーツに切り分け縫い合わせ、柄を生み出す。小さいパーツで作り上げれるため布のロスが少なく作り上げる事ができる。



細長く切ったパーツを細長い筒状にして組み合わせる



樫山 マサヒロ

●シーン設定

日暮里繊維街でのショッピングに着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サステナブル”が表現されているか

「どこに」

「持続可能性」を直線に見立て、異なる種類のストライプをパッチワークのようにプリントで繋げ合わせることで、サステナブルを表現。

「どのように」

リサイクルポリエステルに異なる種類のストライプをパッチワークのようにプリントし、直線的なパターンにすることで生地ロスを削減。

●素材

リサイクルポリエステル

●アピールポイント

直線的なパターンになっており、それにプリントしたストライプ生地で、美しいスタイルになっているのが特徴。



茶谷 愛理沙

●シーン設定

いつまでも長く、自身が着用したい時に着たい自由なスタイル。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

素材、デザイン

「どのように」

生地にリサイクルポリエステルを使用する環境に配慮したスタイル。デザインの柄にはサスティナブルな社会の実現への願いを込めた。

●素材

リサイクルポリエステル

●アピールポイント

近年のファッション業界が環境に与える影響を少なくするために、長く着用できるデザインに仕上げている。

年永 大

●シーン設定

仕事のストレスを発散すると決めた休日に、出かける際に着用してもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

ジャケット、スカート、パンツ等、衣装の全体。

「どのように」

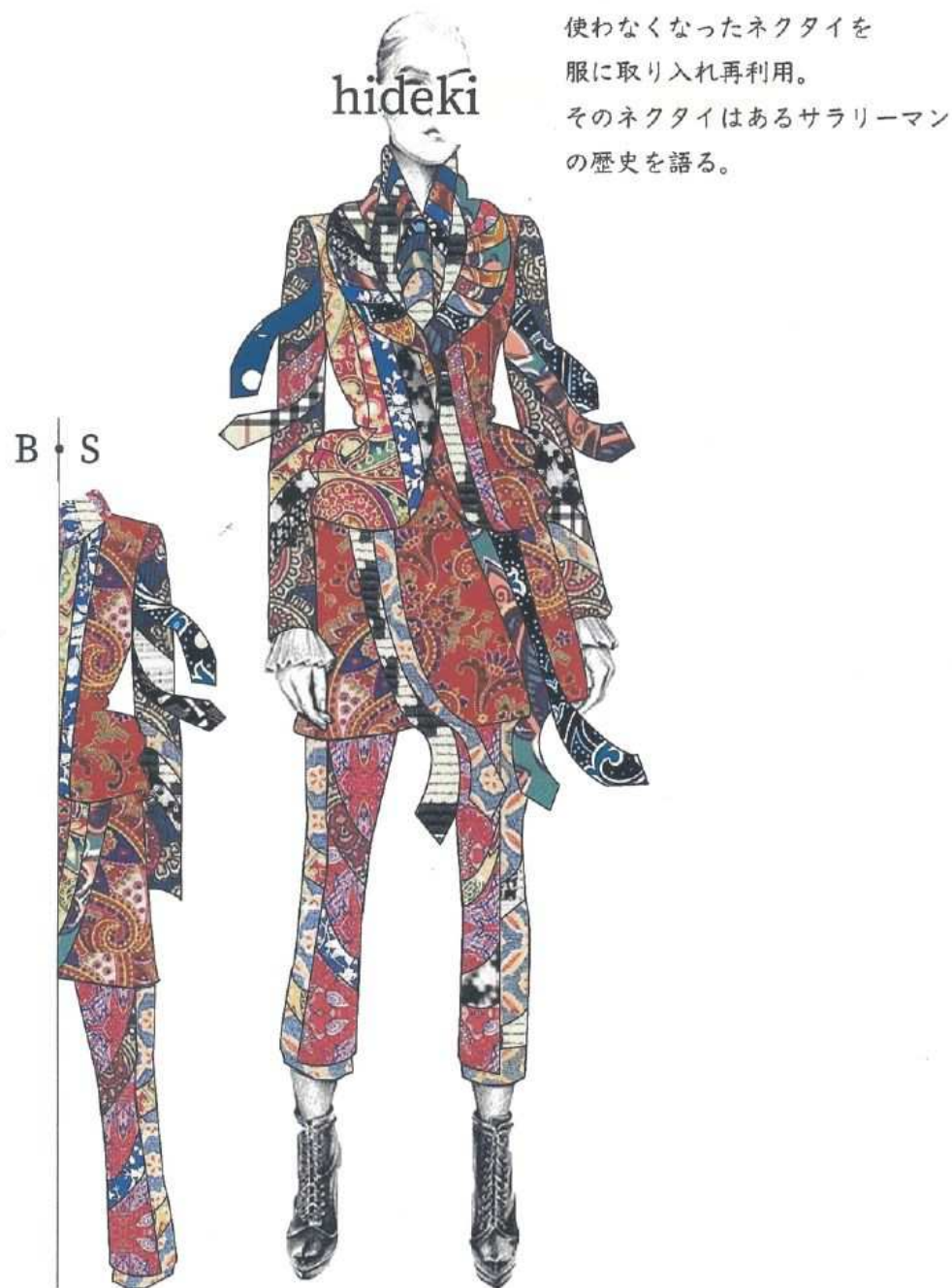
ネクタイの生地を取り入れることで、元々の服に使用する生地を減らすことができる。

●素材

シルク、リネン、ニット、ウール

●アピールポイント

ネクタイの柄の配置により、何パターンものデザインが可能となっており、個性を表現できるスタイル。

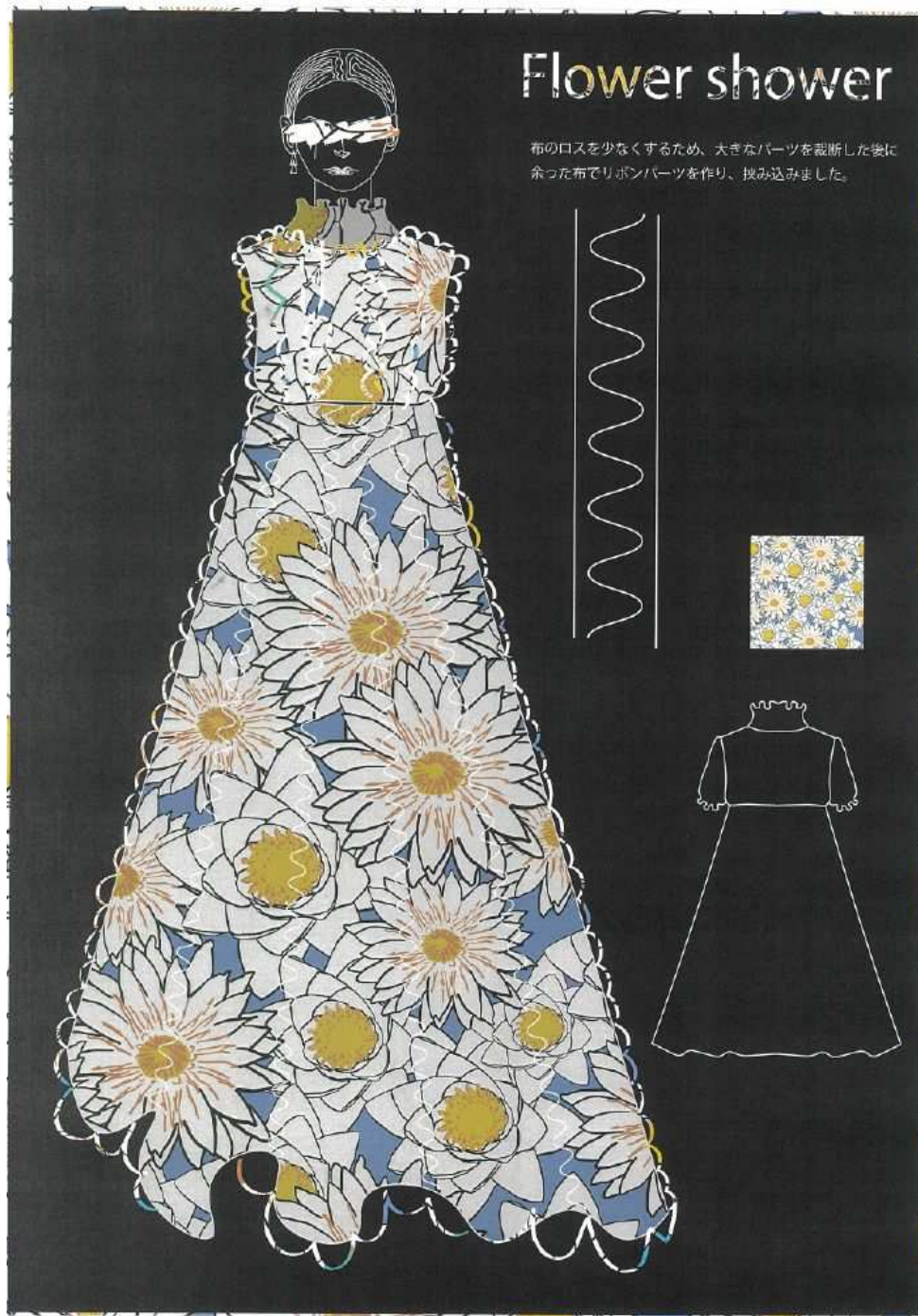


使わなくなったネクタイを

服に取り入れ再利用。

そのネクタイはあるサラリーマン

の歴史を語る。



宮坂 くるみ

●シーン設定

気分を高めたい時に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

素材、デザイン

「どのように」

生地にリサイクルポリエステルを使用。また、布のロスを減らすため直線的なパターンと布端を有効活用しリボンパーツを作り挟み込んだ。

●素材

リサイクルポリエステル

●アピールポイント

布のロス削減を意識したパターンに、布端を利用しリボンパーツをはさむことで、サスティナブルを意識しながらもロマンティックなデザインのワンピースにした。

21世紀ノ旅



1910sのダスターコートより着想を得た。
謂わば21cのダスターコートである。
当時の砂埃から身を守るためのフードは
草木へと。
アウターとスカートはトラベルステッカーを
用いたオリジナル生地を填める。



伊藤 楽葵

●シーン設定

リアルクローズとして日常的に着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

フードとセットアップの生地。

「どのように」

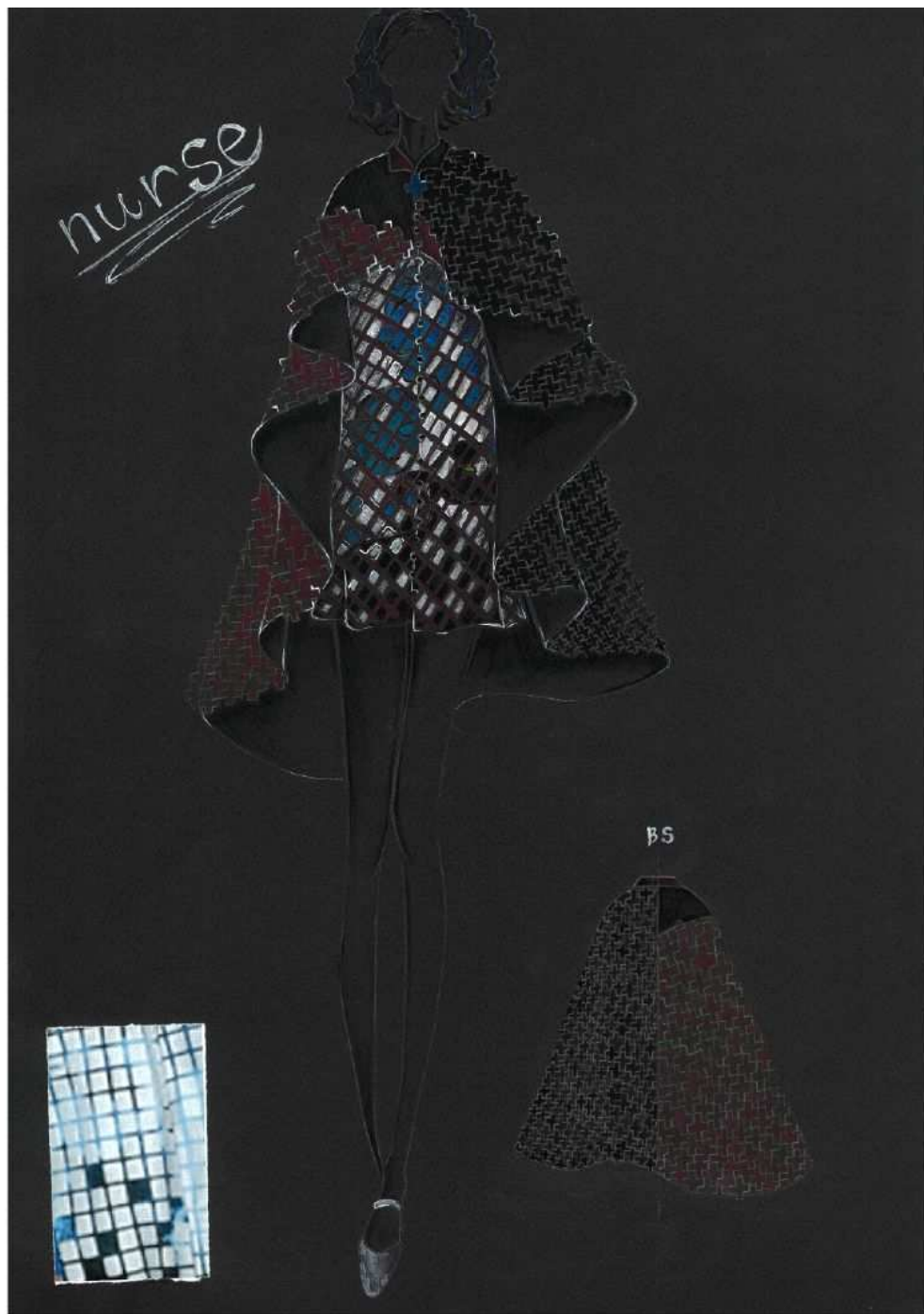
フードには天然の草木で染めた生地を使用し、セットアップは旅先で思い出として購入できるステッカーをたたき、布地とした。

●素材

綿、草木染めのフーディとオリジナルテキスタイルのアウターとスカート

●アピールポイント

ステッカーを貼り付けたからこそでる布地を活かしたシルエット。どこか旅人のようなオリエンタリズムを感じるデザイン。



関根 秀和

●シーン設定

世界中で頑張っている医療従事者に、治療に専念している患者の前で着てもらいたい。

●デザインの「どこに」・「どのように」“サスティナブル”が表現されているか

「どこに」

インナー正面のマリア達とマント部分、インナー本体

「どのように」

オーガニックコットンでインナーの本体を形成し、エコビニールをタイル状にしてマリア達を表現。また、マント部分にもエコビニールを使用。

●素材

オーガニックコットン、エコビニール

●アピールポイント

パッチワークで仕上げていくマント部分と、インナー正面のマリア達の部分に着目。